



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「竜ヶ森」
H22.6.1取材



竜

ヶ森は、大館市と北秋田市の境にまたがる標高1049.8mの山。中腹からは樹齢数百年の巨木のブナが点在するブナ林が広がり、新緑と紅葉の時期は、美しい景観に誘われるように多くの登山客が訪れます。毎年6月1日には山開きが行われ、大館市側からと北秋田市側から登った登山愛好者が山頂に集い、そのシーズンの安全を祈願します。今年は、



新緑のブナ林を堪能した祥敬さん、富子さんご夫婦

北秋田市側登山口への道がナント倒木でふさがれ、この日を待ちかねた両市の登山愛好者ら合わせて約100人が、急きよ大館市側から登ることに。わいわいガヤガヤの皆さんの元気をもらって、同行取材の私も何とか頑張れそう……かな？

登

り始めてすぐに汗だくでゼイゼイの私でしたが、ふと顔を上げると鮮やかな新緑に彩られたブナ林が目の前に広がっているじゃありませんか。緑のシャワーと時折吹く心地良い風にしばし陶醉。山頂へは1時間30分ほどで無事到着しました。山頂の標柱の前で記念写真を撮っていたのは、山口祥敬さん相染町と

富子さんご夫婦。「竜ヶ森登山は2回目なんですけど、去年は雨でかっぱを着て登ったんです。ブナ林がきれいだったので晴れた日に登れて良かったですね」と祥敬さん。お2人は年に10回くらい比較的低い山を登山をしているそうで「低い山の良いところは、無理せず登山が出来る、お昼ごろに山頂でお弁当を食べられることですね」というお弁当は「おにぎりを握ってきたの。中身は鮭と梅干よ」なんだそうです。とつてもむつまじいご夫婦でした。

装

束姿に身を包み山の安全を祈願していたのは、比内地域東館地区にある大日神社の神成幸忠宮司(独站)。

竜ヶ森で安全祈願を続けて今年で6年目とのこと。「3年ぶりの晴天で、久しぶりの晴天で、日用の装束を着られました。雨が降った年は、もう履かずに登山靴のまま祈願したこともあったんですよ(笑)」。竜ヶ森の神様とは？「竜ヶ森の名前のとおり竜神様です。竜は水をつかさどる神様で竜ヶ森は大館の水源地にもなっているの、竜神を祭ることになっているんですよ。雨に恵まれた年は、きっと、竜神様の御利益なのかもしれません。



竜ヶ森について教えてくれた神成宮司